

1 第3回検討委員会（11/20開催）での意見について

2 施策の考え方について

第3回検討委員会での委員からの意見一覧

- ・項目全般にわたる意見をいただいた。

委員会での意見を踏まえた施策の考え方について

- ・第5章「施策及び具体的取組」、第3章より「課題」、第4章より「基本方針」の見直しを図った。

施策	分類	第3回検討委員会での意見
1-1	建設産業のPR	<ul style="list-style-type: none"> ・建設産業のPRの推進の中で他の機関と連携を図っていくと効率がいい。 ・各行政でやっていることを調整会議のような形で、整理ができると協力しやすい。 ・建設産業の魅力事業では、中学生を対象にするところに入力してほしい。 ・市の教育委員会等と連携しながら何か模索できるのではないか。 ・建設産業の重要性や持続可能性などを伝える工夫をすると効果が上がるのでは。 ・建設産業は地元の仕事として有望だということを親御さんに伝えていくことが必要。 ・中学校の時点では親御さんも含めた取組みやPR、広報を考えなければいけない。
1-2,3-3	女性活躍を通じた魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> ・女性が現場で、第一線でやっているということをPRできることが望ましい。 ・基本方針あたりに女性が働ける産業みたいな言葉が一言あってもいいのではないか。
2-1	週休2日の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・技術者の場合は週5日になると賃金を1.2倍ももらわないと割に合わなくなる。零細企業にはこれができなくて週休2日にできないので、札幌市独自で例えば1割、5%を見るということを具体的な予算に盛り込まないか。あるいは、単価に配慮した週休2日の模範工事を発注するための予算をつけていただきたい。
2-4	作業効率化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・役所に工期の設定、年末納期は分散してもらいながら、働き方改革に対応。
3-1,2	担い手確保	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢の若い人有望な人が集まりづらくなっているので、多能工化の勧めも必要。 ・普通高校を出た方でも技術者になれる道というの必要かもしれない。 ・国家資格を取得するための経費に補助が出るという施策もあっていいと思う。 ・働き方の改革は年齢に合った体力に合った、壮年期とか若いときにいっぱい収入をもらえということにやりがいを見出すのが本当の働き方改革ではないか。 ・プランに掲げられていることを企業が実際に取り組もうとすると、それなりのコストがかかってくるので、配慮してもらえればと思う。
4-1	多様な入札制度等の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・若者あるいは女性職員の採用の取組を進めていく中で、経営安定化のための全体予算の確保やくじ引き入札が多いことの改善が問題。 ・戦力確保という意味では50代、60歳代のシニア世代を戦力として有効活用する仕組みも考えていかないとけない。 ・くじ引きは力のある人が入れなくなるので、できるだけない方がいい。 ・女性を採用した会社にフィードバックできる入札制度にしなければならないのではないか。 ・魅力ある産業に生まれ変わっていくためには男性にとっても魅力がないといけないので、ワークライフバランスがちゃんとしているところを評価してもらおう方がいい。 ・技術と経営に優れた建設企業が伸びていく市場環境に加えて、将来に向けた積極的な取り組みをしている企業が伸びる環境を作っていくという発想が望ましい。
5-1	適正な予定価格	<ul style="list-style-type: none"> ・建設業が魅力ある業界だと見てもらうために、女性にとっても働きやすい、一般的に魅力ある職場、業界という話をした方がいい。 ・屋外や夜間の厳しい環境の仕事にはそれなりのリターンがないと、魅力的には映らない。 ・建設業は人を現場に出るまで育てる余力も企業にはないという現状。その辺をうまく回していけるような受発注や施工管理ができればいい。
5-4,5	下請契約の適正化	<ul style="list-style-type: none"> ・「下請け」という言葉遣いについて、場所によって使い分けした方がいい。 ・企業規模が小さくなるにつれ、経営のやり方や現状を変えるのは非常に難しいが、業界間での人材の奪い合いに建設が負けてしまうという懸念も感じる。業界の方々も何かできることに取り組んでいただけるようなスタンスを持たないとけない。 ・札幌市の中小の建設業界は今の予算状況であればなんとかやりくりできているが、5年、10年後がすごく心配で、できるだけ早急に実施していただければありがたい。
6-1,2,3	i-Constructionの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・生産性の向上は、市の協力を得ながらやっていかなければならないテーマであるが、遅れている部分があるので、ご指導いただきたい。

(1) イメージアップ、PRの取組について【施策1-1】

- ・PRの取組については関係機関との連携を図り、効率的・効果的に実施する（本文に追加）
※関係者が集まる会議で議題提案予定
- ・小・中学生や保護者に対するPR方法を検討する
例1）工事現場の開催等の様々な機会の活用（本文の検討項目例に追加）
例2）各学校がカリキュラム編成に活用できるよう、職場体験実施企業のリストを各学校に周知するなどの協力は可能（札幌市教育委員会）

(2) 担い手確保について（PRの取組関係）【施策1-1】

- ・普通高校生に対するPRや技術者になるルート等について記載
※既存PRの拡大で「ワク！WORK！学校祭」を記載、PRの内容の留意事項に「建設企業に就職するまでのルート」を記載
- ・PRの内容の留意事項に「安心できる地元の就職先」を記載

(3) 助成・支援の検討例について【施策3-1,3-2】

- ・国家資格取得等に対する支援について、既存の支援制度を踏まえた効果的な制度を検討（本文に追加）
- ・企業の取組にコストがかかるなど支援が必要な項目については、支援策を検討していくという趣旨で助成制度の検討の項目を記載

(4) 入札・契約に関する制度の活用について【施策4-1,4-2】

- ・総合評価落札制度の充実などの多様な入札契約制度の活用等を図っていく（くじ引き対策、女性活躍の評価、将来に向けた積極的な取組の促進など）

(5) 連携を図る関連計画について【施策7-3】

- ・関連計画を追加（11のプラン等）

(6) 下請企業について【第3章 課題3】

- ・下請企業、専門工事業者などの用語やしわ寄せなどの表現を見直し、課題には「専門工事業者等下請け企業に対する視点が不可欠」とした

(7) 女性活躍【第4章 基本方針】

- ・基本方針にも「女性活躍の取組を推進」を追加